

真っ赤なキノコ



紀宝の
珍百景
認定

今回の珍百景は、町民の方から情報提供いただいた真っ赤なきのこをご紹介します。このキノコは、3月上旬に高岡地区にある「じじいばの墓」という場所の近くで見つけたとのこと。

大きさは数センチほどで、傘の部分だけでなく、柄の部分も真っ赤に染まっており、まるで絵本の中から出てきたようなキノコですね。苔の中から真っ赤な姿を現したキノコの光景は、緑と鮮やかな赤のコントラストがなんともいえない美しさです。

このキノコの種類について、詳しい方にお聞きしたのですが、この春の時期にこんな真っ赤なキノコを見たことがないということ、はつきりと特定できないということでした。もしかしたら大発見なのかもしれません。

普段から目にして自然の中にもまだまだ新しい発見が隠れているのかもしれないですね。

一 珍百景を募集!! 一

皆さんが見つけた珍百景を募集しています。「なんやこれ?」って思わず言ってしまうような、珍百景情報がありましたら、ぜひ役場企画調整課広報係(☎33-0334)までご連絡ください。お待ちしております。

ひょうたん屋

今年度からよろしくおながいします



今月号から広報担当になりました森雅貴です。どうぞよろしくお願ひします。中学生のときに、友達と写っていないか毎月楽しみにしていた広報きほつを、まさか自分が作ることになるなんて、正直思ってもいませんでした。その時の自分のように、若い方にも楽しく読んでもらえるようにがんばっていきます。

さて、初めてのひとりごとは、吹奏楽部に関することを書きます。若い衆のコーナーの趣味の部分で触れていた、トランペットという楽器を始めたのは、中学の部活動からです。

楽器未経験だった僕は最初の頃、あまり上手な演奏が出来ず、これから上手になつていくのが不安でした。ですが当時の顧問の先生が、トランペットを専門にしていたこともあり、マンツーマンでレッスンをしてくださいました。それから僕の伸び悩む部分が解消されていき、周りから僕の楽器演奏に対する信頼が高まった気がして、楽器を吹くことがとても楽しくなりました。

もしかしたら、今この文章を読んでくださっている中高生の中に吹奏楽部へ入るか悩んでいる方がいるかもしれません。しかし断言します。吹奏楽部は楽しい部活です。吹奏楽部に入部する方のほとんどが、初めは楽器未経験なので、切磋琢磨していきける友だちが多くできます。友だちとの関係から部活に行く楽しみや、楽器が上手くなることへの達成感などが味わえる、とてもいい部活なのです。

雑な終わり方になりますが、これから温かい目で応援してくだつてほしいです。

(吹奏楽部はえぞ 森雅貴)

(企画調整課10年目に突入 愛野裕基)

